The Japan Choral Assosiation
Hamarikyu bldg. 7F The Asahi Shimbun 5-3-2 Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo 104-8011

JCA News Release

2019 年 8 月 6 日

「第９回 JCA ユースクワイア」 開催について

期間：２０２０年３月２４日（火）～３月２７日（金）（リハーサルキャンプ）
３月２８日（土）（コンサート）

＊＊＊

一般社団法人全日本合唱連盟、朝日新聞社は、2020 年 3 月 24 日(火)から 3 月 28 日（土）まで、次世代の合唱歌手・指導者の育成プロジェクト「第 9 回ＪＣＡユースクワイア」を長崎県長崎市で開催します。

「ＪＣＡユースクワイア」(Japan Choral Association Youth Choir, ＪＣＡＹＣ）は 2012 年に全日本合唱連盟と朝日新聞社が創設した音楽教育プロジェクトです。このプロジェクトでは、いま世界の主要な合唱シーンで活躍する合唱指揮者・作曲家・教育者を指導者に迎え、厳しいオーディションを経て日本各地から集まった若い歌い手 40 名（16～28 歳）とアシスタントコンダクター１名（25～35 歳）が、毎年 3 月の 5 日間、高い音楽技術と豊かな音楽経験を培います。過去 8 回の開催で、延べ 330 名以上の優れた歌い手・合唱指揮者・音楽指導者が輩出されてきました。

指導の成果は、リハーサルキャンプにつぐ 1 回のコンサートで披露され、多くの聴衆の心に残る演奏を届けています。

＊＊

「第９回ＪＣＡユースクワイア」開催概要	
公演名	第９回ＪＣＡユースクワイア （日英交流年「UK in JAPAN2019-20」参加イベント）
指導・指揮者	ナイジェル・ショート（英国）
開催地	リハーサルキャンプ：長崎大学長崎創楽堂　〒852-8131　長崎県長崎市文京町 1
	コンサート：活水高等学校チャペル　〒852-8566 長崎市宝栄町 15-11
コンサートチケット	2019 年 12 月販売開始（予定）・入場料 1,500 円（全席自由）
主催	一般社団法人全日本合唱連盟、朝日新聞社
後援	ブリティッシュ・カウンシル
主管	長崎県合唱連盟
賛助出演	長崎大学教育学部附属中学校合唱団
ホームページ	http://www.jcanet.or.jp/event/jca-youth/JCAyouth-index.htm

●お問合せ●
一般社団法人全日本合唱連盟
〒104-8011　東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社内
tel：03-5540-7813　fax：03-3544-1964
URL：http://www.jcanet.or.jp
e-mail：event@jcanet.or.jp
担当：野口、眞田、露木

ＪＣＡユースクワイアの特色

●集中型プログラム

メンバーは連続４日間の集中型リハーサルキャンプで、開催地に位置する国内有数の音楽ホールで行われるコンサートに向け、演奏曲の練習に励みます。

●豊かな人間性のために

メンバーは４日間・30 時間を超えるリハーサルの中で、音楽技術はもちろん、初めて出会うメンバーとのコミュニケーション、協調性など音楽づくりに必要な多くのことを理解・体得していきます。また、各開催地に特有の風土・歴史・文化に触れ、豊かな人間性を育くんでいきます。第８回は特別企画として海外からアジア地域のメンバー4 名を受け入れました。

●音楽振興・社会活動

リハーサルの一部公開や、開催地の中学・高校生を対象にした合同演奏セッションを実施し、音楽を通じ地域の音楽活動の活性化の一助となるよう努めています。

●若い歌い手への経済的支援

全日本合唱連盟は、経済的な理由からこのプロジェクトへの参加を躊躇することがないよう、メンバーの会期中の滞在費・食費の一部、海外から招聘される指揮者の指導料、コンサート開催費用を負担しています。

第９回ＪＣＡユースクワイアについて

●指導・指揮者

Nigel Short（ナイジェル・ショート）
英国

歌手（カウンターテナー）、指揮者。
英国王立音楽大学で声楽とピアノを学ぶ。世界的な声楽アンサンブル「キングズ・シンガーズ」のメンバーとして活躍。
2001 年、合唱団「テネブレ」（Tenebrae）を創設。ルネサンスから現代音楽まで幅広いアカペラ作品のレパートリーを持つ。ロンドン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団ほかオーケストラとの共演・指揮も多い。ロンドン交響楽団とテネブレによる CD フォーレ「レクイエム」は 2013 年度英グラモフォン賞にノミネートされた。
2017 年、全日本合唱連盟主催の第 27 回コーラスワークショップ in 横浜で講師を務め、神奈川県内の高校合同合唱団、ソリスト（東京藝術大学４名）、横浜シンフォニエッタとともにヘンデル《メサイア》の全曲演奏を行ない好評を博した。

●演奏曲目

グレゴリオ聖歌	《Pange lingua gloriosi》舌よ、伝えよ
Alonso Lobo (1555-1617)	《Versa est in luctum》わがハープは悲しみの音に変わり
Orlando Gibbons (1583-1625)	《Drop, drop slow tears》静かに涙を流しながら
Johann Sebastian Bach (1685-1750)	《Komm, Jesu, Komm BWV 229》来たれ、イエス、来たれ
Anton Bruckner (1824-1896)	《Os justi, WAB30》正しき者の口は
Gustav Holst (1874-1934)	《Ave Maria》アヴェ・マリア
Samuel Wesley (1766-1837)	《Si iniquitates observaveris》主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら
Edward Elgar (1857-1934)	《O wild West Wind!》おお、激しい西風よ
Charles Villiers Stanford (1852–1924)	《The Bluebird》ブルーバード
Bob Chilcott (1955-)	《The Modern Man I sing》ザ・モダン・マン・アイ・シング

ほか

これまでのＪＣＡユースクワイア　開催の軌跡

●回数／指導・指揮者／開催年・開催地

第１回：Fred Sjöberg
フレッド・ショーベリ
（スウェーデン）
2012・東京

第２回：Werner Pfaff
ヴェルナー・プファフ
（ドイツ）
2013・富山

第３回：Kari Turunen
カリ・トゥルネン
（フィンランド）
2014・三重

第４回：María Guinand
マリア・ギナンド
（ベネズエラ）
2015・山梨／東京

©Nils Nordling

第５回：Robert Sund
ロバート・スント
（スウェーデン）
2016・東京

© Paul Arthur

第６回：James Burton
ジェームズ・バートン
（英国）
2017・埼玉

第７回：Vytautas Miškinis
ヴィタウタス・ミシュキニス
（リトアニア）
2018・島根

第８回：Dieter Wagner
ディーター・ワーグナー
（ドイツ）
2019・山梨／東京

●これまでの演奏曲目

Francisco Guerrero (1528-1599)	《Duo Seraphim》二人のセラフィム（熾天使）
Felix Mendelssohn (1809-1847)	《Jauchzet dem Herrn》全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ
Robert Schumann (1810-1856)	《Im Walde》森で（ロマンスとバラード第２集作品 75 から）
Johannes Brahms (1833-1897)	《Drei Gesänge, Op.42》３つの歌　作品 42
武満徹 (1930-1996)	《翼》
Arvo Pärt (1935-)	《Da pacem domine》主よ、平和をお与えください
Vytautas Miškinis (1954-)	《Cantate Domino》新しい歌を主に向かって歌え
Eric Whitacre (1970-)	《Sleep》眠り
Traugott Fünfgeld (1971-)	《Angel Hallelujah》エンジェルハレルヤ ***＝世界初演＝***
Ola Gjeilo (1978-)	《Unicornis captivatur》囚われた一角獣

ほか

●アシスタントコンダクター

第１回：上田祥行／佐藤　匠　第２回：岸本正史　第３回：堅田優衣　第４回：田中エミ
第５回：佐藤　拓　第６回：市川恭道　第７回：谷　郁　第８回：浜田広志